

# 再生可能エネルギーの大量導入に向けた次世代型ネットワーク構築加速事業

資源エネルギー庁省エネルギー・  
新エネルギー部制度審議室

令和5年度予算額

10 億円 ( 新規 )

## 事業の内容

### 事業目的

エネルギー基本計画で示された、S+3Eを大前提に、再エネ最優先の原則で再エネの最大限の導入に取り組むためには、電力システムの制約解消の加速化が重要です。  
その中でも特に、洋上風力等のポテンシャルの大きい北海道等から、大需要地まで効率的に送電するための直流送電システムの整備に向けた検討の加速化が不可欠です。  
世界的に類例の乏しい大規模な直流送電システムについて、計画的・効率的に整備するための技術開発等を行うことで、国内事業の円滑な整備、海外の整備事業への進出を目的とします。

### 事業概要

#### 敷設・防護手法等に関する技術開発

北海道等から大需要地まで効率的に送電する直流海底連系線の整備に向けて、先行して必要となる敷設技術開発等に着手することで、確実な着工、コスト/工期目標達成、および品質・信頼性の向上を図ります。

## 事業スキーム (対象者、対象行為、補助率等)

### 敷設手法に関する技術開発



## 成果目標

本事業を通じて第6次エネルギー基本計画で示された再エネ比率36~38%程度の達成を目指します。